

寺墾田一百町、七月乙巳、定諸寺墾田地限、亦大倭國分金光明寺四千町、並不與、此詔合續紀又曰、天平勝寶二年二月壬午、益大倭金光明寺封三千五百戶、通前五千戶、此詔豫曰五千戶、亦蓋追刻時所改增也、

〔日本靈異記〕中、打法師以現得惡病而死緣第三十五

宇遲王者、天骨邪見、不信三寶、略中、王眷屬奏於天皇、武詔鏡法師咀于宇遲、令捉將殺、略中、天皇勅

詔、朕亦法師、詔鏡亦僧、法師云、何殺於法師、宇遲招災非詔鏡、咎天皇、剃除鬚髮、受戒行道、故償此法師、不殺詔鏡、

〔弘仁私記〕序、天平勝寶之前、感神天皇(聖武)年號也、世號法師天皇、○下略

〔水鏡〕中、武、次の御門聖武天皇と申さ、略中、七月二日、實元年天平勝位を去て、御ぐしおろして、太上天皇とぞ申侍りし、

〔一代要記〕聖武、天平勝寶元年七月甲午、是日御出家、勝名

〔神皇正統記〕聖武、天下を治め給ふ事二十五年、天位を御女高野姫の皇女、孝にゆづりて、太上天

皇と申後、に出家せさせたまふ、天皇出家のはじめなり、略中、皇后光明子も、同じく出家せさせ給ふ、

〔續日本紀〕孝謙、天平勝寶八歲五月壬申、勅曰、太上天皇、武出家歸佛、更不奉諡、所司知之、

○按ズルニ、水鏡ニハ、聖武天皇ノ出家ヲ讓位ノ後ノ事ト爲シ、一代要記ニハ、讓位ノ日ニ在リ

ト爲ス、然レドモ靈異記ニハ、天皇ノ事ヲ舉ゲテ、天皇剃除鬚髮ト云ヒ、次ニ勅ヲ舉ゲテ、朕亦法

師ト云ヒ、東大寺所藏ナル銅版詔書ニハ、菩薩戒弟子皇帝沙彌勝滿ナドアルニ據リテ考フル

ニ、在位ノ時ニ既ニ出家シタマヒシガ如シ、續日本紀天平勝寶元年閏五月癸丑ノ願文ニ、太上

天皇沙彌勝滿トアルモ、亦在位ノ時ノ事ナリ、而シテ太上天皇トアルハ、當時讓位ノ議ノ既ニ